

- ⑨ 平成21年11月28日、4年生の看護研究発表会が行なわれた。
- ⑩ 平成22年3月12日には医学科と合同の卒業式が西新橋で行なわれ、15期生35名が卒業し、慈大賞と同窓会賞がそれぞれ1名に贈られた。

II. 入学試験

1. 平成22年度入学試験は、平成22年2月10日（水）に一次試験を、2月13日（土）に二次試験を実施した。志願者数は、329名、入学者は42名、その内訳は次のとおりである。
 - ① 女子 40名、男子 2名
 - ② 現役 32名、1浪 8名、その他 2名
 - ③ 地域別入学者数

北海道地方	1名	東北地方	1名
東京および関東地方	35名	信越地方	4名
東海地方	0名	近畿地方	0名
中国・四国地方	0名	九州・沖縄地方	1名
2. 平成21年度オープンキャンパスは、平成21年7月28日（火）と8月25日（火）・26日（水）の3日間実施し、参加者数は481名であった。内訳は、7月が190名、8月が291名であった。
3. 受験生の確保を目的に、学外で開催された3箇所の大学ガイダンス等に分担して教員・学事課職員が参加した。
4. 高等学校53校へ訪問し、本学のピーアールや看護について進路指導の先生方へ説明し、看護について理解を深めてもらった。また、模擬授業も4校で実施した。

III. 国家試験

1. 看護師・保健師国家試験

第99回看護師国家試験は、平成22年2月21日（日）に、第96回保健師国家試験は平成22年2月19日（金）に実施され、その結果が3月26日（金）に発表された。

看護師国家試験は15期生35名が、保健師国家試験は15期生35名、既卒者1名が受験し、全員が合格した。

なお、全国の看護師国家試験合格率は89.5%、保健師国家試験合格率は86.6%であった。

IV. 学生生活アドバイザー

平成21年度より、学生生活を稔り豊かなものとするため、学習上や生活上の悩みを気軽に相談できる学生生活アドバイザー制度を導入した。1、2年生を対象とし、比較的若手の教員が4～5名の学生を担当し、前期・後期それぞれ1回の交流活動の他、適宜自由に活動を行なった。学生アンケートの結果は好評であった。

(3) 大学院

1. 医学研究科博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実を図るため種々検討を重ねてきた。平成21年度は大学院をより充実させるよう検討を行った。

主な項目は以下のとおりである。

- 1) 透明かつ公正な学位審査会の実施
 - ① 学外から審査委員を登用した。
 - ② 乙種の学位審査料を見直し、論文指導手当として指導教授に手当を配当する。（平成21年度受付分より）
- 2) 本学の研究の充実とその活性化を図るための実施
 - ① 平成21年度の医学研究科研究推進費の採択件数は6件となった。（前年度比+3）
 - ② 研究奨励費と振興費を統合し、新たな助成制度を創設するための検討を行っている。平成20年度より医学研究科における研究の充実とその活性化を図るため医学研究科の助成制度（東京慈恵会医科大学医学研究科研究推進費）を創設し、平成21年度は6件採択した。（前年比+3）

3) 大学院教員へ Faculty Development の実施

大学院委員会と倫理委員会共催でFD「臨床研究に関する講習会」を2回実施した。

日 時：平成21年6月16日（火）18：00～ 講 師：薄井紀子

日 時：平成21年6月29日（月）18：00～ 講 師：藤原康弘

4) カリキュラムの内容の検証

- ① 共通カリキュラム必修科目「医学教育学」、「医の倫理」、「医学研究法概論」の授業コマ数を8コマとした。
- ② 当講義は大学院生のみならず研究者にとって有益な講義であったため、講義の一部を公開講義とし、社会人大学院生でも履修できるよう動物実験や医療統計学を土曜日に開講した。
- ③ 平成22年度から選択カリキュラムの授業の一部に e-learning システムを導入することにした。

平成22年度の大学院入試は2回実施し、1回目は平成21年10月3日に、2回目は平成22年2月24日に実施した。その結果、35名（うち社会人7名）が合格した。この結果、大学院全体の学生数は102名となった。本学の大学院生は本学の各講座、総合医科学研究センターのみならず、国外ではカリフォルニア大学、ボストン大学、スタンフォード大学、ベイラー医科大学など、国内では東京大学、大阪大学、防衛大学校、慶應大学および放射線医学総合研究所、国立成育医療センター、国立感染症研究所など国内外の様々な大学、研究所でも広く研究を行っている。

2. 看護学専攻修士課程

本課程が平成21年4月に開講したのを受けて、課程の安定的な運営に努めるべく研究科委員会、大学院委員会、教学委員会、FD委員会、大学自己点検・評価委員会、入学試験委員会を発足させ、運営を図った。

教員への教育研究支援として、博士課程と同様に授業料の返戻制度を利用して「研究指導費」を創設して、教員への教育研究支援制度を作った。

また、学生に対しては、博士課程と同様な「研究助成制度」を創設して、学生にとっては、研究指導費の院生使用分と研究助成制度により、活動の範囲や内容を高めるようにした。

入学試験は、募集を平成21年9月1日（火）～9月25日（金）間に行い、出願資格認定試験を平成21年10月3日（土）、一般入学試験を平成21年10月18日（日）に実施した。

その結果、17名の応募があり、12名が合格した。

また、文部科学省へ大学等の設置に係る設置計画履行状況報告について、平成21年5月14日（木）に提出し、平成22年2月5日付で、「特段の留意事項は付さない」との通知を受けた。

6) 慈恵看護専門学校の様況

看護専門学校学生数（平成21年5月1日現在）

	学生総定員数	1学年定員数	1年生	2年生	3年生	計
	人	人	人	人	人	人
慈恵看護専門学校	300	100	102	104	99	305
慈恵第三看護専門学校	150	50	51	53	49	153
慈恵青戸看護専門学校	120	40			27	27
慈恵柏看護専門学校	240	80	84	76	55	215
計	810	270	237	233	230	700